



にいかわ たつろう
新川 達郎

同志社大学政策学部・大学院総合政策科学研究科 教授

【略歴】

早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程満期退学。
財団法人東京市政調査会研究員、東北学院大学法学部助教授、
東北大学大学院情報科学研究科助教授を経て、現在同志社大学
政策学部/大学院総合政策科学研究科教授。

【研究テーマ】

・政府を巡るガバナンス改革に関する比較研究

」

【 講演可能なテーマ 】

- ・ 行財政改革、行政サービス改善
- ・ 地域づくり、まちづくり、コミュニティ・デザイン
- ・ 行政計画、総合計画、地域計画、開発計画、計画論
- ・ 市民参加、協働
- ・ 議会改革

【講演実績】

- ・ 決算審査の改革について（奈良県議会）
- ・ 災害に強い地域づくり特別セミナー 市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）
- ・ 人口減少社会における道州と基礎自治体（愛知県）
- ・ 基礎自治体の行政運営～人口減少社会の行政職員に求められること（京都府南部地域行革推進会議）
- ・ 地方自治体議会議員のための地方議会改革・地方議会活性化（一般社団法人日本経営協会）

【著書・論文】

- ・ 『政策学入門—私たちの政策を考える』（2013年、法律文化社）
- ・ 『京都の地域力再生と協働の実践』（2013年、法律文化社）
- ・ 『地域資源を活かす温暖化対策—自立する地域をめざして』（学芸出版社、2011年）
- ・ 『持続可能な地域実現と地域公共人材 日本における新しい地平』（日本評論社、2011年）
- ・ 『持続可能な地域実現と協働型ガバナンス 日米英の事例比較を通じて』（日本評論社、2011年）
- ・ 『公的ガバナンスの動態研究—政府の作動様式の変容』（ミネルヴァ書房、2011年）等多数

【委員会・審議会】

全国知事会頭脳センター専門委員、関西広域連合協議会副会長、京都府府民力推進会議座長、その他